

奈良町

ならまち

きたまち

京 終

中世奈良三市のひとつ北市が立ったとされる北市町の恵美須神社では、1月10日に初えびす「十日戎」が行われます。「ご先祖様も、こうしてお参りしていたのよ」と手を合わせる親子や近所さん同士が昔話を花を咲かせるなど、折りの風習が代々受け継がれています。

Kitaichiebisu-jinja



天文年間に開かれた高天市の恵美須神社(春日大社末社)では、1月5日に例祭が行われます。「近所の子どもたちが来てくれるときは賑やかだね」と話す町の人。雅楽の調べ、古式ゆかしい巫女舞。「シャン、シャン」と清らかな神楽鈴の音色が境内に響きます。

Takamaichiebisu-jinja



新春の風物詩

くえびす祭



ドンッ!ドドンッ!とリズム良い太鼓の音に導かれ、一人、また一人と参拝客。慶長年間に毎朝魚市が立ったとされる南魚屋町の富久神社の初えびすでは、その名残かのように吉兆笹に大きな鯛が。毎年、地元の皆さんでわいわいと笹に飾りをつけるのも恒例行事。

Fuku-jinja



Minamiichiebisu-jinja

大和で最もにぎわったという南市の恵美須神社(春日大社末社)の初えびすは1月5日の「五日えびす」。地元の人が「昔はもっと多かった」というお祭りですが、今でも毎年、はかま姿の福娘たちが授ける吉兆笹を求めて長蛇の列が。今も昔も折りの姿は変わりません。

寒の入りの頃、全国各地で春を呼ぶ行事「初えびす」が行われます。えびす神といえば、右手に釣竿、左手に鯛を持つ漁業繁盛・商売繁盛の神さま。市神としても有名で、市(いち)の立つ場所にはえびす様が祭られることも多く、奈良町でも、鎌倉・室町時代に市が立ったとされる町の中心には現在もえびす様をお祭りする神社が。初えびすの日、町の人によって縁起物の吉兆笹が授けられるところもあり、日ごろは静かな境内もこの日ばかりは福を授かりに来た人々で大にぎわいです。

倉橋：私は山口県から奈良へ。内田先生は三重県で出身で、京都、高知、東京を経て、奈良へ来られたそうですね。

内田：はい。14年前、東京から、きたまちにある奈良女子大学に赴任し、ならまちにある附属中等教育学校（中高一貫校、対談当時）の校長も兼任していますので、毎日のように奈良町を歩き来しています。伝統と現代が上手く溶け合った

奈良町っていいですね。

奈良町の伝統行事は、「マチのまつり」

変容しながら、受け継がれてきました。

きたまちを中心に奈良町全体の活動に関わる倉橋みどり（奈良市観光大使）が、奈良女子大学教授で人文地理学が専門の内田忠賢教授に、奈良町の魅力、伝統行事の特色とこれからについてお話をうかがいました。



倉橋：いいですよ。私のようによそから移り住んだ者も、観光に来られた方もよくおっしゃいますが、何かなつかしい気持ちになります。

内田：古い建物があるからだけではなく、奈良町にはお地藏さまとか神社やお社、お寺も大きいものから小ぢんまりしたものまで多くあり、歴史を感じさせる町名に出会うことができます。古い町の特徴ですが、通りの両側がひとつの町の単位になる「両側町」が多いですね。つまり、通りを挟んでコミュニケーションが取れるんです。新しい町では通りは境界になります。なにより住んでいる人がいて、

「暮らしの気配」があるのもなつかしさ、温かみを感じさせる。

奈良町の大きな魅力です。

倉橋：まちの方々による伝統行事に行き合うことも多い。特に地藏盆は、いつも通る道のあちこちで一斉に行われていて、奈良に来たばかり



倉橋みどり
奈良市観光大使としても活躍中！1994年の結婚を機に奈良市民に。きたまちを拠点に、奈良の歴史や文化を書籍や雑誌、講座などさまざまなかたちで発信。

内田忠賢
奈良町を毎日行き来しています！きたまちにある奈良女子大学教授（人文地理学・民俗学）。2019年春から、ならまちにある奈良女子大学附属中等教育学校校長も兼任。

外の力も借りて受け継がれてきた伝統行事をご紹介します！

御霊神社例大祭

（10月12日、13日・薬師堂町）

平成6年（1994）から、まちづくり団体「奈良町座」が渡御式のお手伝いに参加。近年は、宵宮の福引や縁日が企画され、にぎわいが増しています。

八坂神社祇園祭宵宮

（7月13日・押上町）

平成28年（2016）から、宵宮に地元の店舗などが集まった団体「きたまちコンセン」が店出。地域密着型のにぎわいが増えています。

璉城寺地蔵盆

（7月23日・西紀寺町）

もともと紀寺の農家の人たちがお祀りしていましたが、お寺が継いで行うように。大人と子どもの笑い声あふれる行事になっています。

のときは、とても驚き、感激しました。

内田：伝統行事といえば、学生時代、京都祇園祭の調査のため、ある鉾の町内へ毎日通っていたら、町内の方のご厚意で、山鉾巡行の際、時代衣装を着て鉾の行列の先頭を歩く役目を任されました。「参与観察。傍観者ではなく、向こうの人になりなさい」というのが恩師の教えです。町内の仲間に入れてもらい、よくわかったんですが、実は、祇園祭はかなりの部分、町外の人々の力で成り立っているんです。

倉橋：え、そうなんですか。八坂神社の氏子さんとか京都の町衆だけで執り行っているイメージがありました。少子高齢化の影響ですか？

内田：いえいえ、近世（江戸時代）以前からそうです。有名な、福岡市の博多祇園山笠も同様に、近世以前から、外部の人々が多数参加しています。彼らは歴史的には、加勢（かぜい）と呼ばれます。

「まつり」には、「マチ（都市）のまつり」と「ムラのまつり」とがある

と考えられます。マチとムラとは、働き手の交流だけでなく、下肥や食糧、生活必需品の取引などを通じて、つながりの長い歴史があります。だから、マチのまつりを、よその人たちが手伝うというのは、歴史的に当たり前のことなんです。

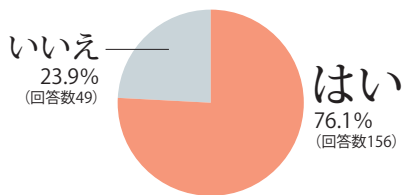
倉橋：奈良町はマチ（都市）とムラ、どちらなのでしょう？

内田：奈良町は真正正銘のマチ、古くからずっと都会です。このエリアは、奈良に都があったときから多くの人が行き来する場所。それは京都へ都が移り、南都と呼ばれるようになった奈良の中心が東

自治会長さんに地域の伝統行事について伺いました！

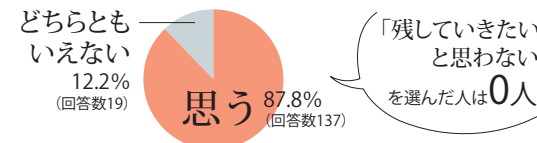
Q.1 あなたの自治会で伝統行事を実施または参加していますか？

（回答数205／奈良町及び周辺自治会307中）



Q.2 伝統行事をこれからも残していきたいと思いますか？

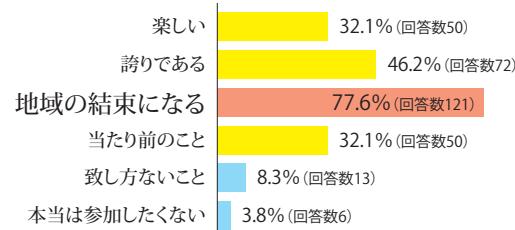
（回答数156）



「残していきたいと思わない」を選んだ人は0人

Q.3 伝統行事に参加することについて、どう思いますか？

（複数回答／回答数156）



※Q.2・3は、Q.1で地域の伝統行事に参加していると答えた156自治会のみ回答

大寺などの社寺になっても本質は変わりません。いわば、奈良町は1300年間、マチであり続けた、凄い場所です。なので、

奈良町の伝統行事の多くは「マチのまつり」

と言えると思います。

倉橋：ということは、ムラの力、今の感覚で言い直せば外の力を借りることは当たり前のこと。

内田：そうです。

倉橋：今回のアンケートを見ても、今後続けていくために苦労されていることがくっきりと見えてきましたが、外の力を借りてきた結果、今まで伝統行事が残ってきたという事実は大きなヒントになりそうですね。ただ、昔のように特定のムラとのつながりにこだわらず、サポーターは広く募るようにして。ソーシャル・ネットワーキング・サービス（SNS）で情報拡散したり、あるいは奈良町に多いゲストハウスのリピーターさんに参加したりしてもらいたいのかも。ボランティアで手伝ってくれる人もいそうな気がします。いながらにして情報を得られるネット社会だからこそ、「体験する」価値は高くなっていますから。

内田：関東には、東京の神田祭など多くのまつりに、神輿を担ぐ愛好者グループが多数参加し、各地のお祭りを盛り上げています。一方、東京には熱心な奈良ファンが多い。地元の人にとっては当たり前

「ぜひ参加したい」魅力が絶対あります。

倉橋：経験上、伝統行事への参加はコミュニティに入れてもらえるきっかけになる。定年後に奈良町に移住を考えている人なんか、喜んで参加してくれそう……。

内田：規模が小さすぎるまつりにはなかなか参加しにくい面もあるでしょうけど。奈良は古代だけが注目されがちですが、様々な伝統行事を現代まで伝えてきたこと自体が凄いと思います。

倉橋：伝統は受け継ぐのは当然という気風が奈良にはありますよね。おん祭、修二会、そして奈良町の伝統行事にも、「先人が続けてきたものは、続けていく」というパワーがある。

内田：なぜこんなに長く続けてこられたか、というと、外の力をうまく使うだけでなく、時代にに合わせて柔軟に変えてきたという面もあると思います。変えないことにこだわり過ぎて、ドライフラワーみたいな伝統行事になってしまうのもったいない。

倉橋：関わっておられる方が生き生きとしているまつりであってほしいと思います。

内田：奈良町の伝統行事でも、まちづくり団体の力を借りている事例がすでにあるそうですね（P1下段参照）。

倉橋：講や町内会のつながりがしっかりしている反面、よそのまつりについて、とくに運営の部分は知らないことが多いのかも。うまく情報交換をしながら、人手や資金面で「しんどいから辞めよう」ではなく、

「しんどいけど工夫して続けていこう」

という機運がますます高まるといいなと思います。

奈良町では、「伝統行事をぜひ続けたい」という熱意はあるものの、担い手が足りません。町の外からの参加者も呼び込み、また、町どうしの交流を図ることができれば、より元気になるのではないのでしょうか。

こんな課題を抱えています！

地域の皆さんの声

“伝統的”な行事のやり方がわからない。伝統行事はやっているけど…本当にちゃんとやれているのか不安。

飛鳥地区
の自治会長さん

お年寄りばかりで子供は少ないし、若い移住者は共働き！人を集めたくても、集められない！

済美地区
の自治会長さん

伝統行事を残すために時代に合わせてアレンジしても良いのでは？古い様式はどこまで維持すれば良いのか？

鼓阪地区
の自治会長さん

行事に詳しい先輩方が減ってきて、行事の内容や意味、歴史について聞きたくても聞けない！

佐保地区
の自治会長さん

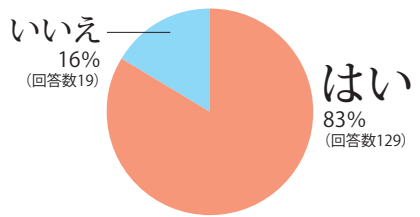
どうしても集まる人がいつも同じになってしまう。他の住民とも交流を図るには、どうしたら良いの！

椿井地区
の自治会長さん

伝統行事を続けていくために どんな工夫をしているの？

自治会長さん 154人に
教えてもらいました！
約50%の自治会で様々な工夫が！

Q.4 地域伝統行事を継承するために 課題を抱えていますか？ (回答数154)



こんな取り組みも行われています！



東之阪町の 「お地蔵さんラリー」

部落解放同盟奈良県連合会 東之阪支部女性部長 松谷 操さん

お地蔵さん巡りを“スタンプラリー”にアレンジ

東之阪町では、20体のお地蔵さんが町角や個人宅でお祭りされています。その歴史は古く、1576年、多聞城が壊された際、野ざらしにされた石仏地蔵を忍びないと町の人たちがお祭りしたのがはじまり。お地蔵さんを祭る20の講で、現代まで大切にお祭りされてきました。昔から、それらの講が主催する地蔵盆を子どもたちが回るお地蔵さん巡りが、この町の夏の風物詩です。「お地蔵さんを町の元気の源にしたい」と、2009年から部落解放同盟の女性部が中心となって始めたのがスタンプラリーです。10か所のお地蔵さんを回ってスタンプを集めたら、抽選が1回でき、景品がもらえるという内容で、「お地蔵さん巡り」を現代風にアレンジしました。「お地蔵さん巡り」は、この町に根付く伝統行事ですが、講を守る方の高齢化、参加する子どもの減少などの課題があるなか、「子どものことなら協力してもらえるのでは」と考え、できることを無理のない範囲で企画して、できるだけ長く続けていこうと心がけています。

工夫① 一人で回れない小さな子どものために、ぬりえを塗ったらガラガラを1回できるルールにしています。

工夫② あえてマップは作らずに、子どもの好奇心を生かして、お地蔵さんの場所を探してもらっています。

自治会長 松田 好則さん

毎年100名を超える人たちが参加しています。



できることを
続けています。



奈良市立飛鳥公民館の 「歩こう！飛鳥の地蔵盆」

お話を伺ったのは…
飛鳥公民館 館長 乾 愛さん、楠木 宏実さん

新しい住民も知って嬉しい「地蔵盆」

企画のきっかけは「地域課題の解決を目指すモデル公民館等プロジェクト事業」。地元の学校の先生や地域の人と一緒に飛鳥地区の課題を考えたときに、新興住宅地に新しい住民が増えても、新旧住民の交流が少ないことが話題になりました。旧市街地では当たり前の地蔵盆を新住民が「ハロウィンみたいで面白そう!」と言うと、「え？面白いつて思うの?」と旧住民がびっくりする一幕が。そこで、新住民に地蔵盆や地域のことを知ってもらい、町の人たちをつなげるために子どもと一緒に地蔵さん巡る行事を企画しました。スタンプポイントのお地蔵さんでは、地元の人に謂れやどうやってお祭りしているかを話してもらったり、数珠繰りを体験させてもらったりと協力してもらえたおかげで、「本物に触れる機会が嬉しい」「お地蔵さんの風習を子どもに伝えていきたい」と、子どもだけでなく保護者からも大好評。2年連続で参加してくれる親子もいました。

工夫① 地蔵盆を知らない保護者もいるので、告知用チラシに地蔵盆の解説を入れました。

工夫② 住職さんの協力により実現できた数珠繰りの体験は、子どもにも、大人にも大好評！

「歩こう！飛鳥の地蔵盆」2019

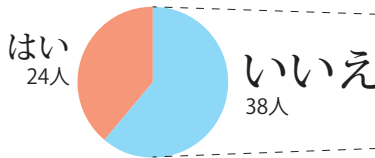
地蔵盆を知っていますか？
飛鳥地域には、たくさんお地蔵さまがまつられています。お地蔵さまは、子どもたちの守護神として、昔からずっとわたしたちを見守ってくれています。

※「地蔵盆」とは関西地方を中心に行われている行事です。お地蔵さまを祭る行事で、飛鳥地域では毎年7月23日に多く行われています。

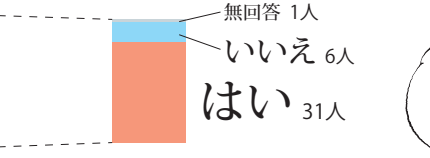
HPやSNSで
奈良町好きの人に
伺いました！

自治会役員以外の方は、伝統行事をどう思っているの？

Q.1 奈良町の伝統行事に参加または お手伝いをしたことがありますか？ (回答数62人)



Q.2 機会があれば奈良町の伝統行事に 参加またはお手伝いしたいですか？ (回答数38人)



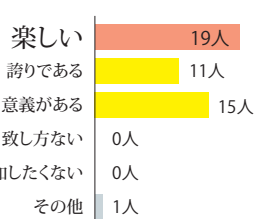
奈良町に魅了されています！遊びに行くだけの場所からもう少し町に踏み込みたい。(40代 10回以上来訪)

貴重な機会なので、参加しないともったいない！(30代 5回程度来訪)

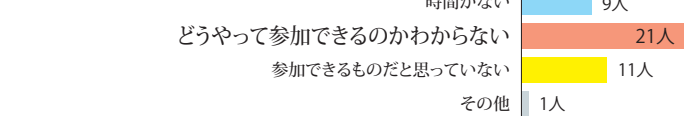
伝統行事に敬意と興味があることを伝え続けたら、お手伝いできると縁が繋がりました！(30代 住民)

いつどこで行事が行われるかわからないうえに、急に参加して地元の人に歓迎されるか不安(70代 10回以上来訪)

Q.3 参加または お手伝いしたことがある方に 聞きました。 奈良町の伝統行事に 参加または お手伝いすることは？ (複数回答／回答数24人)



Q.4 参加または お手伝いしたことがない方に 聞きました。その理由は？ (複数回答／回答数38人)



奈良町 歳時記

00 00 00 00 00 P5~7地図のスポット番号と連動

〔奈良〕ならまちエリア

〔奈良〕きたまちエリア

〔京終〕京終周辺エリア



誰でも参加OKな行事

奈良町の住民でなくても、自分の町内の行事でなくても、参加・参拝・見学OK！

3月

二の午の日	01 稲荷神社の二の午	西木辻中町	MAP P5B2	〔ならまち〕
3月末～4月初めの日曜	02 桜祭り	今在家町	MAP P7B2	〔ならまち〕
3月末の土曜～4月初めの日曜	03 佐保川・川路桜まつり (佐保川・川路桜保存会)	法蓮西町第1、法蓮西町第2、 法蓮立花町、法蓮桜町	MAP P7A3	〔きたまち〕

4月

8日	04 八鐵神社 祭礼	手貝町	MAP P7B2	〔きたまち〕
19日	05 林神社 饅頭祭 (漢國神社境内)	漢國町	MAP P5A1	〔きたまち〕

6月

1日	06 椿明神祭	下御門町	MAP P5B1	〔ならまち〕
16日、17日、18日	07 率川神社 三枝祭 (ゆりまつり)	本子守町	MAP P5B1	〔ならまち〕

7月

5日	08 高天市恵毘須神社 夏祭	高天市東町、高天市西町	MAP P7A3	〔きたまち〕
6日、7日	09 弁財天夏祭(初宮神社)	鍋屋町	MAP P7B3	〔きたまち〕
	10 厳島神社 夏祭り	北風呂呂	MAP P5B2	〔ならまち〕
	11 弁財天夏祭り(弁財天社境内)	手貝町	MAP P7B2	〔きたまち〕
	12 弁財天祭り	餅飯殿町	MAP P5B1	〔ならまち〕
7日	13 理源大師法要	餅飯殿町	MAP P5B1	〔ならまち〕
	14 弁天祭(東向弁財天)	東向中町	MAP P5B1	〔ならまち〕
	15 弁財天祭礼(八坂神社境内)	押上町	MAP P7C3	〔きたまち〕
12日	16 薬師如来祭礼(元興寺)	中院町	MAP P5B2	〔きたまち〕
13日、14日	17 八坂神社 祇園祭	押上町	MAP P7C3	〔きたまち〕
14日、15日	18 毘沙門天王祭	十輪院町、毘沙門町	MAP P5B2	〔ならまち〕
	19 八嶋神社 宵宮・本宮	内侍原町	MAP P7A3	〔きたまち〕
15日	20 崇道天皇社 夏祭	西紀寺町	MAP P7E4	〔京終〕
22日	21 地藏祭	大森町南	MAP P5A2	〔ならまち〕
	22 不空院 地藏盆	高畑町	MAP P6D2	〔きたまち〕
23日	23 十福地藏尊地蔵盆	花芝町	MAP P7B2	〔きたまち〕
	24 地藏盆	餅飯殿町	MAP P5B1	〔ならまち〕
	25 地藏盆	奥子守町	MAP P5A1	〔きたまち〕
	26 地藏盆	寺町	MAP P5A1	〔きたまち〕

7月

23日	27 地藏盆	法蓮町南一丁目、 法蓮町南二丁目	MAP P7B3	〔きたまち〕
	28 地藏盆	中新屋町	MAP P5B2	〔きたまち〕
	29 地藏盆	綱町、京終地方東側町、 京終地方西側町	MAP P5B2	〔ならまち〕
	30 京終地藏院 地藏盆	北京終町	MAP P7D4	〔京終〕
	31 爪がき地藏尊地蔵盆	中清水町	MAP P5C2	〔ならまち〕
	32 地藏盆(正覚寺境内)	築地之内町	MAP P5B2	〔ならまち〕
	33 地藏盆	中通町	MAP P5C2	〔きたまち〕
	34 早和良地藏尊地蔵盆	紀寺東口町	MAP P7E4	〔京終〕
	35 地藏盆	新屋敷町	MAP P7E4	〔京終〕
	36 地藏まつり	肘塚町	MAP P7D4	〔京終〕
	37 子安地藏尊地蔵盆	上清水町	MAP P5C2	〔ならまち〕
	38 柳地藏地蔵盆	下高畑町	MAP P5C2	〔きたまち〕
	39 夕日地藏尊地蔵盆	興善院町	MAP P7B2	〔きたまち〕
	40 傳香寺 地藏盆	小川町	MAP P5B1	〔ならまち〕
	41 十輪院 地藏盆	十輪院町	MAP P5B2	〔きたまち〕
	42 福智院 地藏盆	福智院町	MAP P5C2	〔きたまち〕
	43 念聲寺 地藏盆	川久保町	MAP P7B3	〔きたまち〕
	44 璉瑠寺 地藏盆	西紀寺町	MAP P7E4	〔京終〕
	45 地藏さんラリー	東之阪町	MAP P7C2	〔きたまち〕
	46 地藏盆	西笹鉾町第一	MAP P7B2	〔きたまち〕
	47 地藏盆	南城戸北方町、 南城戸南方町、浄言寺町	MAP P5B2	〔ならまち〕
	48 金鉢寺 地藏盆	十輪院町	MAP P5B2	〔きたまち〕
	49 地藏盆	南市町	MAP P5B1	〔きたまち〕
23日、24日	50 北向地藏尊祭典	御所馬場町	MAP P5B2	〔きたまち〕
	51 地藏盆	北半田中町	MAP P7B3	〔きたまち〕
	52 地藏盆(瓦町会所)	瓦町	MAP P5B2	〔きたまち〕
	53 地藏盆	八軒町	MAP P5A2	〔きたまち〕
	54 地藏盆・夏祭り	十三軒町	MAP P5B2	〔きたまち〕
	55 鎧地藏地蔵盆	笠屋町	MAP P5C2	〔きたまち〕
	56 しあわせ地藏尊地蔵盆	手貝町	MAP P7B2	〔きたまち〕

7月

8月8月9月

10月

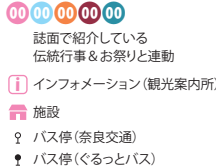
10月

11月

12月

7月2月

奈良町
全図



行事への参加・参拝は町内の人のみです。町内の方で
ご興味のある方は自治会にお声がけください。
※屋外で行われる行事は、外から見学できる場合もあります。

非公開

関係者しか参加・見学できません。
町内の人でご興味のある方は自治会にお声がけください。

7月7日	弁財天祭礼	川上西町、北御門町
3月17日	観音講	下三条町
毎月23日	地藏講	西新屋町
庚申の日	庚申講	中新屋町

